

## 図書館だより

●開館時間●

9:00～18:00

●5月の予定●

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

■ 休館日

■ おはなし会

■ ひろたのみんのおはなし会

■ にこにこほっぺのおはなし会

砥部町立図書館

☎(962)4400

## 新着紹介

『吾妻おもかげ』

『山亭ミアキス』

『滅私』

『ミス・パーフェクトが行く!』

『マンモスの抜け殻』

『答えは風のなか』

『生を祝う』

『人形姫』

『真夜中のマリオンネット』

『偽装同盟』

梶 よつ子

古内 一絵

羽田 圭介

横関 大

相場 英雄

重松 清

李 琴峰

山本 幸久

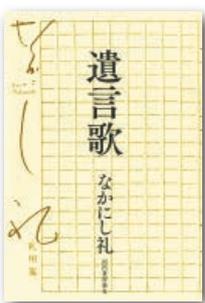
知念実希人

佐々木 譲



『100万回死んだねこ』  
福井県立図書館 講談社 刊

「100万回死んだねこ」↓  
「100万回生きたねこ」…。図書館の利用者がうっかり覚え違えた本のタイトルから、司書が正しいタイトルを導き出した事例集。本の情報、司書の仕事も紹介。



『遺言歌』  
なかにし 礼  
河出書房新社 刊

生と死を見据えながら、波瀾万丈の人生を歩み、2020年12月に惜しまれつつ、この世を去った天才作家・なかにし礼による小説全3作を収録する。『オール讀物』『別冊文藝春秋』掲載を単行本化。



『新しい星』  
彩瀬 まる  
文藝春秋 刊

「普通」の人生を謳歌していたはずの4人に訪れる、思いがけない転機。コロナ時代の「普通」に揺れる、ある4人の男女のリアル。愛するものの喪失と再生を描く8つの物語。

## 楽しく！仲良く！健康に！ 山村留学センター

岡山山村留学センター

☎(969)2310

平成4年度に広田地区の高市区で始まった山村留学事業は今年度で30周年を迎えます。山村留学とは「自然豊かな農山漁村に、小中学生が1年間単位で移り住み、地元小中学校に通いながら、さまざまな体験を積む」活動です。全国では、23都道府県の60以上の市町村で実施され、毎年600人以上の小中学生が参加しています。

町山村留学センターでは、これまでに全国から延べ535人の留学生（本町は小学生のみ）を受け入れています。今年度は松山市を中心に県内7人、東京、大阪、沖縄など県外11人の計18人の子どもたちが山村留学をしています。

留学児童は、集団生活をしながら平日はスクールバスで約7時間離れた広田小学校に通い、休日は豊かな自然環境の中で、都会では味わえない数々の自然体験や勤労体験をします。留学中に帰省するのは、夏休みと冬休みだけで、学期中は朝から晩まで濃密な人間関係の中で1日を過ごすので、自ずとコミュニケーション能力は高くなります。

また、地元児童にとっても小規模校にもかかわらず、毎年度入れ替わる留学児童との関わりの中で、多様性を認め合う良い機会になっているようです。



山村留学を始めた大きな理由は、旧高市小学校の存続のためでしたが、子どもたちを取り巻く環境が多様化する中で、山村留学は子どもの成長における1つの選択肢として注目を集めています。

